

令和元年度 学校評価集計結果について

中央市立田富中学校
校長 清水 英樹

はじめに

本校の保護者、生徒、教職員に対して令和元年12月にアンケートを実施しました。アンケートの結果や今年度行われた全国学力学習状況調査・県学力把握調査の結果を考察し、自己評価を行いました。来年度に向けての改善策がまとまりましたので報告いたします。

1 アンケート項目について

アンケート項目は中央市内の各小中学校で同一内容にして実施しました。

2 評価について

「令和元年度 教職員・生徒・保護者の学校評価平均点と昨年度比較表」を掲載しました。



〈3年思春期体験授業〉

(1) 評価平均点から考える「努力したい項目」「改善が必要な項目」

- * 評価は4段階で実施し、平均値を2.5と考えました。
また、評価平均点の数値を次のように判断しました。
 - 3.0以上「概ね良好」
 - 2.5以上3.0未満「努力したい項目」
 - 2.5未満「改善が必要な項目」

(2) 前年度との比較

- * 前年度の結果と比較して大きな変動があるか、 ± 0.3 以上の変化を見ました。
生徒・保護者・教職員の各項目で ± 0.3 以上の変化があった項目はありませんでした。

(3) 肯定率から

- * 評価を4(そう思う)と3(ややそう思う)と、肯定的評価をしている割合を肯定率として算出してみました。90%以上を、取り組みの成果が出ている項目、70%以下を、本校の課題として来年度改善が必要な項目として判断すると
 - 90%以上を三者(保護者・生徒・教職員)が評価している項目は、1項目ありました。
 - ・17 部活動は、あなたのお子さんにとって充実した活動になっていると思いますか。
 - 70%以下を三者が評価している項目はありませんでした。個々にみていくと、肯定率が70%以下の項目は以下の3項目になります。肯定率が低い順にあげると
 - ・59.6%(保護者) 9 あなたのお子さんの学力は、向上していると思いますか。
 - ・65.6%(保護者) 10 あなたのお子さんは、家庭で毎日学習していますか。
 - ・67.4%(保護者) 8 地域の人材や環境が教育活動に生かされていると思いますか。
 - 生徒の評価項目で最も肯定率が低かった項目は、以下になります。
 - ・70.8%(生徒) 10 あなたは家庭で毎日学習していますか

3 三分類(「概ね良好」「努力したい」「改善が必要」)した評価について

(1) 総括

三者の総合平均点は、教職員と生徒の評価が比較的高く、教職員・生徒とも総合平均が3.37でした。保護者の評価がやや低く、総合平均で3.14でしたが、昨年度の保護者総合平均より0.18ポイント向上しました。項目ごと見ると、昨年度と比較して上がっている項目が多く見られました。『あなたのお子さんは、あいさつがよくできていると思いますか』『先生方は、あなたのお子さんのことを良く理解していると思いますか』『生徒会活動や委員会活動は充実していると思いますか』『学校は人の生き方について考えさせる等、豊かな心を育てようとしていると思いますか』の4項目は、前年度と比較して+0.1以上と大きく向上しました。一方、前年度と比較して0.1ポイント以上、下がった項目は1項目です。『学園祭などの学校行事は、あなたのお子

んにとって楽しく充実していると思いますか』が-0.11ポイントでした。

三者別に平均値が最も低かった項目をみると、教職員・生徒・保護者ともに『あなたのお子さんの学力は向上していますか』が最も低く、教職員 3.04・生徒 2.93・保護者 2.71 でした。教職員・生徒・保護者ともに学力向上に課題があることを指摘しています。



〈地域人材による琴の授業〉

今年度、生徒と保護者との比較で開きが大きかった項目は、『地域の人材や環境が教育活動に生かされていますか』『あなたのお子さんは、意欲的に授業に取り組んでいますか』『先生方は、生徒一人一人が理解しているかどうか気を配っていると思いますか』『学校は、安全性が確保されるように教育環境が整えられていると思いますか』『学園祭などの学校行事は、あなたのお子さんにとって楽しく充実していると思いますか』で 0.4 ポイント以上の大きな開きがありました。5項目とも、生徒の評価が高く、保護者が低くなっています。「社会に開かれた教育課程」という視点で、学校が保護者・地域とともに生徒を育てることを考えたとき、保護者と生徒・教職員との認識をある程度一致させていくことが重要になります。そのためにも、学校開放日期間の充実・情報発信等、様々な手立てを行っていきたいと考えます。

(2) 「概ね良好」(3.0以上)の評価について

* 以下の14項目については、保護者、生徒、教職員とも3.0以上に評価しました。

- ・ 1 生徒は学校生活を楽しんでいると思いますか
- ・ 2 あなたのお子さんは目標を持って学校生活を送っていると思いますか
- ・ 3 学校は家庭に適切な連絡や情報提供を行っていると思いますか
- ・ 4 学校は、安全性が確保されるように教育環境が整えられていると思いますか
- ・ 5 先生方はわかりやすい授業に努めていると思いますか
- ・ 7 あなたのお子さんは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか
- ・ 12 相談事や悩みなどに、先生方は適切に応じてくれていると思いますか
- ・ 13 先生方は、いじめなどない楽しい学級づくりに努めていると思いますか
- ・ 14 先生方は、生徒指導に力を入れていると思いますか
- ・ 15 先生方は、あなたのお子さんのことをよく理解していると思いますか
- ・ 16 学園祭などの学校行事は、あなたのお子さんにとって楽しく充実していると思いますか
- ・ 17 部活動は、あなたのお子さんにとって充実した活動になっていると思いますか
- ・ 18 生徒会活動や委員会活動は、充実していると思いますか
- ・ 19 学校は人の生き方について考えさせる等、豊かな心を育てようとしていると思いますか

昨年度より更に1項目増えました。共通19項目の内14項目が概ね良好と評価されました。領域別に確認すると、学校経営・生徒指導・特別活動ではすべての項目とも3.0以上となりました。

(3) 「努力したい」(2.5以上3.0未満)の評価について

* 三者がそろって2.5以上3.0未満の評価をした項目は、今年度はありませんでした。しかし、前述したように「家庭学習の習慣化」「学力向上」は喫緊の課題です。「主体的・対話的で深い学び」に視点を置いた授業改善に向けて校内研究をより一層充実させるとともに、「授業と家庭学習の有機的な結びつき」「学びの大切さ」などを切り口に、生徒とともに「家庭学習の習慣化」「学力向上」について考える二者面談等の教育相談活動を充実させていきたいと考えます。また、保護者とも、課題解決のための連携協働体制を推進していきたいと考えます。



〈国語科研究授業の様子〉

(4) 「改善が必要」(2.5未満)

今回のアンケート調査の結果で平均値以下の2.5未満の項目は、1つもありませんでした。

4 評価に対する考察について

(1) 「概ね良好」(3.0以上)の評価について

「概ね良好」(3.0以上)の評価を見ていくと、学校経営・特別活動の全項目と生徒指導(教職員の『あなたのお子さんは、あいさつがよくできていると思いますか』を除く)の全項目で3.0以上の評価をいただくことができました。しかし、本校の地域や生徒の状況を鑑みれば、現状に甘んじることがあれば、生徒指導に対する困難な状況となることも考えられます。結果に甘んずることなく、さらに力を入れていくことが求められ

ていると考えます。

また、項目No.11『あいさつがよくできていると思いますか』は学校経営方針の重点項目でしたが、教職員・生徒・保護者ともに昨年の評価を上回りました。PTAの役員の方のご協力の下、教職員・生活委員会・PTA生徒指導部が合同であいさつ運動に取り組んだこと、毎月第一月曜日に保護司・更生保護女性会の皆様・生徒会・教職員が協力して、あいさつ運動に取り組んだことの成果があらわれていると思います。しかし、教職員の意見には『自然なあいさつができない』等のコメントもあり、教職員のみ3.0を下回る(2.93)数値が出ていることから、教職員が考えている「あいさつ」と生徒が考えている「あいさつ」に差異があることがわかります。「あいさつ」は子どもたちが将来社会に出てから大切なこととなりますので、今後様々な機会を通じて、十分な定着をめざしていきたいと思っております。ご家庭からの支援をいただけますと幸いです。保護司・更生保護女性会・保護者・生徒会役員による「あいさつ運動」は非常に効果的だと思っておりますので継続するとともに、「あいさつの意義」を生徒たちに考えさせる機会を設けていきたいと思っております。

(2) 「努力したい」(2.5以上3.0未満)の評価について

「努力したい」＝「努力しなければならない」2.5以上3.0未満の項目は教科指導に集中していました。保護者は『先生方はわかりやすい授業に努めていると思いますか』が3.17、『あなたのお子さんは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか』が3.03であった以外は教科指導のすべての項目が2.5以上3.0未満でした。これは、保護者の学校への期待が「学力向上」であることがはっきりと見てとれました。

(3) 「改善が必要」の評価について(2.5未満)

今年度も2.5未満の評価項目は1つありませんでした。

5 成果と課題について

(1) 【成果】今年度取り組んだ事への評価と考察

今年度、重点課題として、①「地域の人材や環境を教育活動に生かしていく」、②「毎日の家庭学習の習慣化し、学力の向上を図る。」2点を設定しました。①については、今年度も、1学年では、弁護士出前授業や租税教室、職業講話、2年生でも、弁護士の出前授業や保護司に学ぶ会、3年生では、思春期ふれあい体験、人権教室(人権擁護委員)を行いました。また、全校では、交通安全教室、芸術鑑賞、情報モラル教室、PTA研修部主催の岩崎けんいち氏による講演会、薬物乱用教室を実施しました。更に、今年度は、昨年度に引き続き、音楽科の授業において2名の講師を招き、伝統音楽(琴)の授業を実施しました。また、新たな試みとして、地域企業による「ものづくり」の授業(技術科)では、12名の専門スタッフが本格的な指導をくださいました。中学校では教科指導に外部人材を活用することは難しい面もありますが、生徒から大変好評であり教育効果もあがりました。今年度の実績をもとに来年度以降も教科指導における外部人材の活用を検討・実施していきたいと思っております。

②については、本年度も『気づき、考え、実行する生徒の育成』を研究テーマに校内研究に取り組み、「学力向上」や「家庭学習」の項目を改善すべく取り組んできました。また、今年度も総合教育センター研究支援協力校として、総合教育センターの指導主事の先生方・山梨大学教職大学院の先生方の指導を受けながら、授業力向上に主眼を置いた研究授業・校内研修を行ってきました。

「学力向上」については三者の平均を好転することはできませんでしたが、三者の平均で「地域の人材や環境が教育活動に生かされていると思いますか」以外の教科指導の項目は昨年度より数値が向上していき、取り組みの成果が表れてきていると捉えることができます。3学期以降、来年度に向けて「山梨スタンダード」を高い次元で実施することや校内研修の充実など組織的な取り組みを行う一方、「やまなし教員等育成指標」を念頭に教職員一人一人が自己研鑽に励んでいくことを確認し、一層の取り組みを始めています。また、今年度の全国学力学習状況調査(3年)・県学力把握調査(2年)では、「書くこと」「根拠を示して自分の考えを表現(書く)すること」に共通の課題がみられるので、各教科等の授業に意図的に「書くこと」、「根拠を示して自分の考えを表現(書く)すること」を中心とした言語活動を取り入れていきます。これらの取り組みを家庭学習に有機的に結び付けていくために、スクールライフを活用しての助言・各学年学級で取り組んでいる家庭学習ノートの活用を充実させるとともに、家庭との連携協働体制を推進していきたいと思っております。

(2) 今後の取り組みについて

今年度は、多くの項目で昨年度を上回る結果になっています。今年度の取り組みを引き続き、充実させていきたいと思っております。「学力向上」「家庭学習の習慣化」の2点を来年度の重点課題としたいと思っております。

①『学力向上』

学力向上は学校教育の根幹であり、本校においても喫緊の課題であると考えます。

- ・「授業のめあてを示し、振り返ること」「授業と家庭学習を有機的に結びつけること」「言語活動(自分の考えを根拠を示して書くこと・話し合い活動で考えを広げること等)を効果的に取り入れる」など、授業改善を高い次元で実施する。

- ・生徒が達成感や成就感を持てる授業を工夫する。
- ・生徒に一人一人に気を配り，個に応じた学習指導を進める。
- ・言語活動を効果的に取り入れる。

[担当] 教務主任，研究主任，教科主任，教科研究会等

校内研究を通して，生徒が自ら問いを発し，協働により，課題を解決していく「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行い，達成感や充実感の持てる授業実践を目指し研究を進める。

②『学習の大切さを感じ，家庭学習の習慣化を図る』

毎年課題となっている項目です。対策についても校内研究と連動させて講じてきていますが，なかなか改善が図られていないのが現状です。

- ・家庭学習の手引きの活用
- ・スクールライフの活用
- ・家庭学習ノートへの取り組みの充実
- ・「学びの甲斐善八か条」（県教委）を活用した取り組みの実施
- ・「山梨県家庭学習実践事例集」を校内研究で取り上げ，本校の取り組みに活かしていく。
- ・家庭生活（スマホ・TV・ゲーム・携帯電話利用等）について生徒とともに考える機会を設定する。学年総会等で保護者にも協力をお願いする。

[担当] 研究主任，学年研究担当，生徒指導部会，各学年部会



〈地域人材ものづくり体験授業〉

6 その他

(1) 三者からの回答数

・生徒	418名	回収数	397名	(回収率	95%)	理由：欠席・無回答
・保護者	418名	回収数	352名	(回答率	84%)	
・教職員	32名	回答数	32名	(回答率	100%)	

(2) ご意見ご要望について

本年度も多くのご意見ご要望をいただきました。様々な考えがあることを十分に理解することができました。「学力向上」や「生徒指導」への期待を読み取ることができましたので，改善できるところは3学期のスタートにあたり，全職員で改善点を確認し，教育活動にあたっています。

その他のご意見として，教育環境整備についてのご指摘がありました。引き続き，修繕に努めたり，市当局に要請していきますが，門扉の設置等，すぐに対応できないものもあります。ご理解のほどお願いいたします。また，部活動についても，いくつかご意見をいただきました。知・徳・体の調和の取れた生徒の育成に向け，休養日等に配慮しながら，本校の特色でもある部活動を推進していきたいと考えています。

来年度も「中央市の教育の基本『まごころ』」「校訓『誠実』」「学校教育目標『豊かな心を持ち，たくましく生きる生徒の育成』」を基本に教育活動を推進していきますが，保護者の皆様のご意見を学校教育に活かすことは非常に大切なことであると考えています。今後ともご理解とご協力，ご支援をお願いいたします。



〈あいさつ運動〉

7 学校関係者評価委員会から (3/11 いただいたご意見等を載せます。)